【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年1月18日(2024.1.18)

【公開番号】特開2021-138925(P2021-138925A)
【公開日】令和3年9月16日(2021.9.16)
【年通号数】公開・登録公報2021-044
【出願番号】特願2021-9278(P2021-9278)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　7/04(2020.01)
Ｂ２９Ｂ 11/16(2006.01)
Ｃ０８Ｇ 59/68(2006.01)
Ｂ２９Ｋ105/06(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　7/04　　Ｚ
Ｂ２９Ｂ 11/16
Ｃ０８Ｇ 59/68
Ｂ２９Ｋ105:06

【手続補正書】
【提出日】令和6年1月10日(2024.1.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
以下の構成要素［Ａ］～［Ｄ］を含むエポキシ樹脂組成物を、繊維強化複合材料予備体の表面に塗布した後、該エポキシ樹脂組成物を光硬化せしめる繊維強化複合材料中間体の製造方法。
［Ａ］非芳香族エポキシ樹脂
［Ｂ］平均粒径０．１～１０μｍの顔料
［Ｃ］非芳香族熱可塑性樹脂
［Ｄ］カチオンまたはアニオン重合硬化剤
【請求項２】
エポキシ樹脂組成物がさらに構成要素［Ｅ］チキソトロピー性付与剤を含む、請求項１に記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。
【請求項３】
エポキシ樹脂組成物がさらに構成要素［Ｆ］硬化助剤を含む、請求項１または２に記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。
【請求項４】
エポキシ樹脂組成物がさらに構成要素［Ｇ］ゴムを含む、請求項１～３のいずれかに記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。
【請求項５】
エポキシ樹脂組成物が構成要素［Ａ］非芳香族エポキシ樹脂を少なくとも２種類含む、請求項１～４のいずれかに記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。
【請求項６】
繊維強化複合材料予備体の表面にスプレーまたは手塗りによりエポキシ樹脂組成物を塗布する、請求項１～５のいずれかに記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。

【請求項７】
エポキシ樹脂組成物を塗布する前に繊維強化複合材料予備体の硬化度を７０％以上とした後、エポキシ樹脂組成物を塗布する前に繊維強化複合材料予備体の表面を研磨する、請求項１～６のいずれかに記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。
【請求項８】
エポキシ樹脂組成物を塗布する前に繊維強化複合材料予備体の表面をプラズマ表面処理する、請求項１～６のいずれかに記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。
【請求項９】
エポキシ樹脂組成物を光硬化せしめた後、該エポキシ樹脂組成物の硬化物表面を研磨する、請求項１～８のいずれかに記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。
【請求項１０】
エポキシ樹脂組成物を光硬化せしめた後、該エポキシ樹脂組成物の硬化物表面をプラズマ表面処理する、請求項１～８のいずれかに記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。
【請求項１１】
強化繊維が炭素繊維である、請求項１～１０のいずれかに記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。
【請求項１２】
エポキシ樹脂組成物を塗布する前に繊維強化複合材料予備体の硬化度を２０～７０％とする、請求項１～６、８～１１のいずれかに記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法。
【請求項１３】
請求項１～１２のいずれかに記載の繊維強化複合材料中間体の製造方法で製造された繊維強化複合材料中間体に対し、さらに熱による後硬化を行う、繊維強化複合材料の製造方法。